

実動訓練 (水防訓練)

【参加機関等】 那須消防署・町消防団・芦野地区自治会



土のう作り



土のう袋は、結び目と反対側のお尻の部分を水が流れて来る方向に向けて、石垣のように隙間なく積み上げると強度が上がります



土のう袋にスコップで砂を入れ土のうを作りました。災害時には、水が住居に侵入することを防ぐなど、欠かせない資材です

車両での避難呼びかけ



町消防団員が消防車両で芦野地区を巡回し、避難の呼びかけ訓練を実施しました

応急担架・もやい結び体験



解けにくく頑丈な「もやい結び」を学びました。水害時に電柱などの頑丈な柱に自分の体を固定して流されるのを防ぐなど、さまざまな場面で応用ができます



毛布と竹竿で応急担架の作り方を学びました。大人が乗っても落ちずに安定して持ち上げることができました

水防倉庫資材確認



水防倉庫には、洪水などによる水の侵入を防ぐために必要な土のう袋やスコップ、杭などの水防用資材が収納されています

火山の噴火にも注意!!

防災のワンポイント

甚大な被害と共に、戦後最悪の死者が出た、御嶽山噴火から8年が経ちました。本町にも活火山である那須岳があります。万一の噴火に備え、あらかじめ、備えておきましょう。

○火山噴火から身を守るために

- ・町防災マップや那須岳火山防災ハンドブック等で、危険区域や避難所の位置等をあらかじめ確認しておきましょう。
- ・避難指示等が発令された際に、すぐに避難所に避難できるように、最寄りの指定避難所を確認しておきましょう。

- ・噴火した場合、降灰により物流やライフラインに影響が出る可能性があります。食料や水、ヘルメット、防塵マスク等の防災グッズを備えておきましょう。
- ・噴火速報を見逃さないように、登録制メールや防災情報アプリなどの情報ツールを備えておきましょう。

- ・登山中に万が一噴火に遭遇した場合には、火山灰やガスを吸い込まないように速やかに火口から避難しましょう。

▼問合せ 総務課総務防災係
☎ 72-6901